

故郷の夏といえば、盆踊り。盆踊りは先祖を迎え慰める行事であるとともに、心に残る故郷の思い出です。直方市には、福岡県無形文化財に指定された歴史のある盆踊りがあります。



三申踊り(みさるおどり)

空也上人を祖とした「植木寺中」が植木役者と呼ばれる地方歌舞伎の一団になり、植木の日吉神社の祭礼に奉納した踊りがはじまりといわれています。また地域に伝わる念仏踊りに植木役者が持ち帰った流行唄を取り込み、盆踊りとして伝えられるようになったという説もあります。

三申踊りは「思案橋」「次郎左」「七手」「本手」からできています。「七手」は男の踊り手の「かじや」「みざお」「ひめじょ」「さんばそう」「てんき」「とあみ」「もろて」があり、花どりの相図に合わせて次々に姿を変えながら踊ります。ひとつの踊りの輪の中に数種類の型の踊りが入る、華やかで見ごたえのある踊りです。

「植木三申踊り」 N386 ノ
「直方市史下巻」 NL219 ノ



日若踊り(ひわかおどり)

多賀神社の前身の妙見大明神に奉納していた日若謡・日若舞がはじまりといわれています。

日若踊りは、「次郎左踊り」また「思案橋踊り」があります。これは延宝6年(1678)直方藩士大塚次郎左衛門が大阪で舞を習い、直方に持ち帰ったものとされています。また宮芝居の巡業に来た、安政4年に大阪あやめ座の俳優によって「新町本手踊り」が、元治元年大阪の俳優浅尾鬼丸によって「古町本手踊り」が、また慶応元年肥後の俳優によって「外町本手踊り」が完成しました。現在でも「新町組」「古町組」「外町組」とそれぞれちがう振付で踊られています。優雅な踊りは、直方市民の誇りとなっています。

「無形文化財 直方日若踊り」 N386 ノ
「直方日若踊り」 NL386 ノ
「直方市史下巻」 NL219 ノ

直方あの頃

昭和33年～昭和36年

三申踊りと日若踊りが福岡県無形文化財に指定された昭和33年以降、どんな出来事があったのでしょうか。また、この年になにが流行したのでしょうか。

昭和33年(1958年)

5月 福智山ダム幹線水路完成
この年、フラフープ流行、一万円札発行

昭和35年(1960年)

6月 直方郷土研究会発足
この年、黒ん坊人形“ダッコちゃん”流行

昭和36年(1961年)

10月 市制施行三十周年記念式を実施
この年、「上を向いて歩こう」「スーダラ節」流行



郷土の人々

鞍手郡に西洋医学をもたらした 武谷元立・武谷祐之

江戸時代の医療は、中国医学が中心となっていました。江戸中期以降、科学的な検証を重要とする西洋医学を志す医者が主流となりました。鞍手郡でも西洋医学を学び、人々の治療にあたった医者がいました。



武谷元立（たけやげんりゅう）は、天明5年（1785）現在の宮若市高野に生まれました。家業を継いで医師となり、藩命の伝達や郡内の医師の監督を行う「郡医頭取」をつとめました。文政10年（1827）長崎にシーボルトを訪ね、西洋医学を学んだ後、鞍手郡ではじめて西洋医学による治療を実践し、天保12年（1841）には博多で、共に西洋医学を学んだ医師らと、死体の解剖を行いました。人々の非難を受けましたが、西洋医学の実践を貫き、西洋医学を福岡藩にもたらした先駆者となりました。

「直鞍こぼればなし」 N219ノ

「鞍手郡医療史」 N490ク

「鞍手郡誌」 NL219ク

武谷祐之（たけやゆうし）（文政3年（1820）生）は元立の長子で、大阪の緒方洪庵の元で西洋医学を学びました。特に天然痘の予防法を研究しました。帰郷後、鞍手郡ではじめて、種痘の予防接種を行いました。種痘は最初、人々に受入れられませんでした。祐之は種痘の解説書「牛痘告諭」（ぎゅうとうこくゆ）を、国学者伊藤常足の力を借りて書き上げ、町村に配布しました。後に種痘が予防に有効だと実証され、種痘は福岡藩に広まっていきました。

祐之は、慶応3年（1867）福岡藩医学校の創設に尽力しました。武士以外の一般の医家の子弟も受け入れ、医学の発展に尽くしました。



はじめの一步 ~郷土資料の紹介~

直方市立図書館にある郷土関係の本を紹介していきます。

郷土の歴史や文化に興味をもっといただくきっかけになればと思っています。

今回、「直方市を知る」の第二弾は、文化・芸術部門として高取焼・内ヶ磯窯について、また、直方市出身の写真家・尾仲浩二さんの資料をご紹介します。

『高取焼展』直方市教育委員会／N751ノ

『高取焼開窯四〇〇年祭記念誌』高取焼開窯四〇〇年祭実行委員会／N751ノ

『大名茶陶』朝日新聞西部本社／N751ノ

『GRASSHOPPER ONAKA Koji=2001-2005』尾仲浩二／N748ノ

『DRAGONFLY ONAKA Koji=2002-2007』尾仲浩二／N748ノ

『NOGATA My home town 1983-1998』尾仲浩二／N748ノ



直方市立図書館

直方市山部 301-1 ユメニティのおがた内

TEL 0949-25-2240 FAX 0949-23-3902

<http://www.yumenity.jp/library/library.htm>